

C-01

コミュニケーション型組織学習システム -Good Company, Good World-

着目した世の中の課題

「社内の誰に相談すればいいかわからない」「自分の能力が活かせる仕事ができない」という【大手企業の社員課題】を切り口に、「失われた30年」「日本の大手企業からイノベーションは生まれない」と言われ続ける複雑難解な【大手企業の組織課題】を紐解きます。

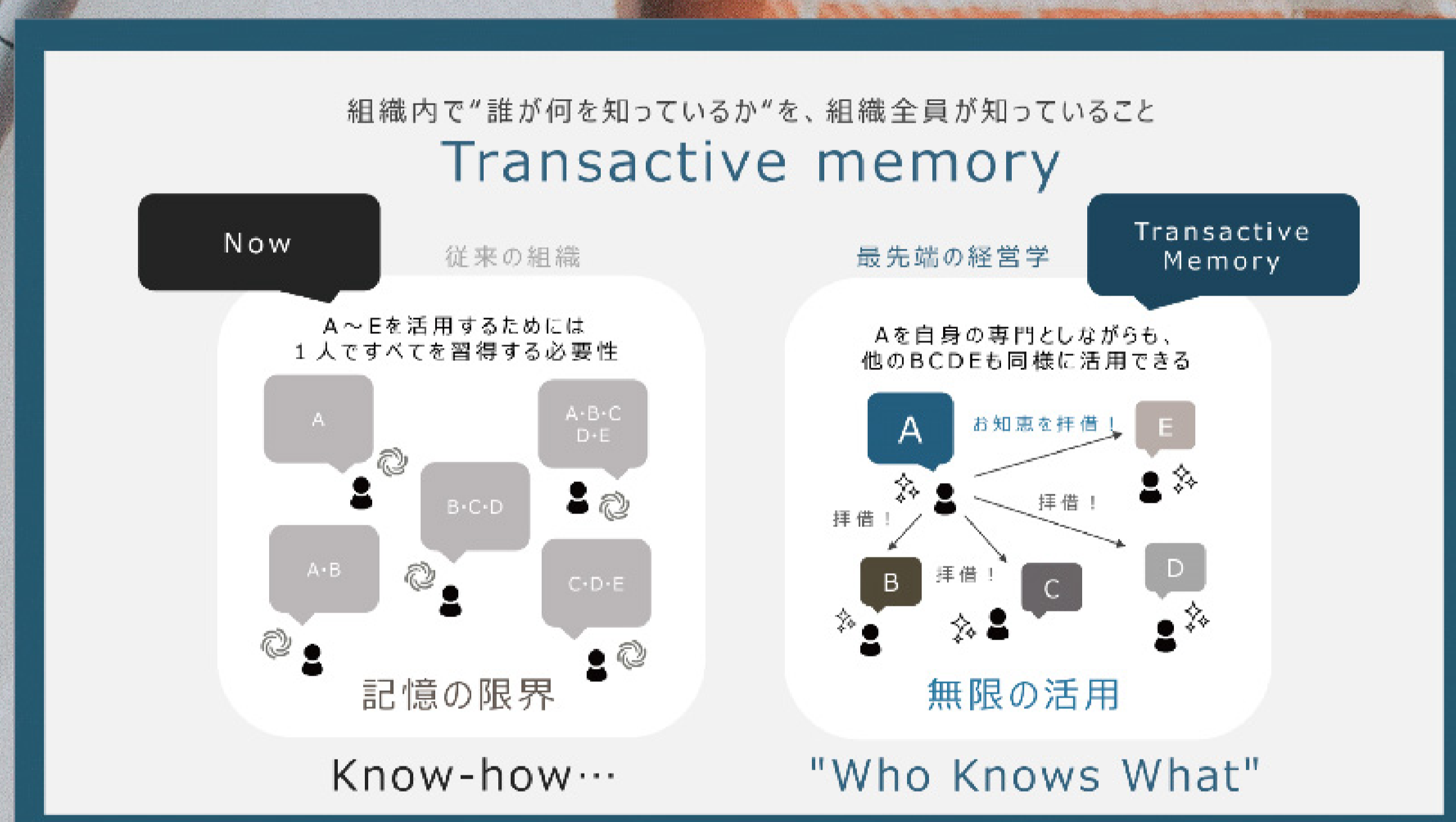
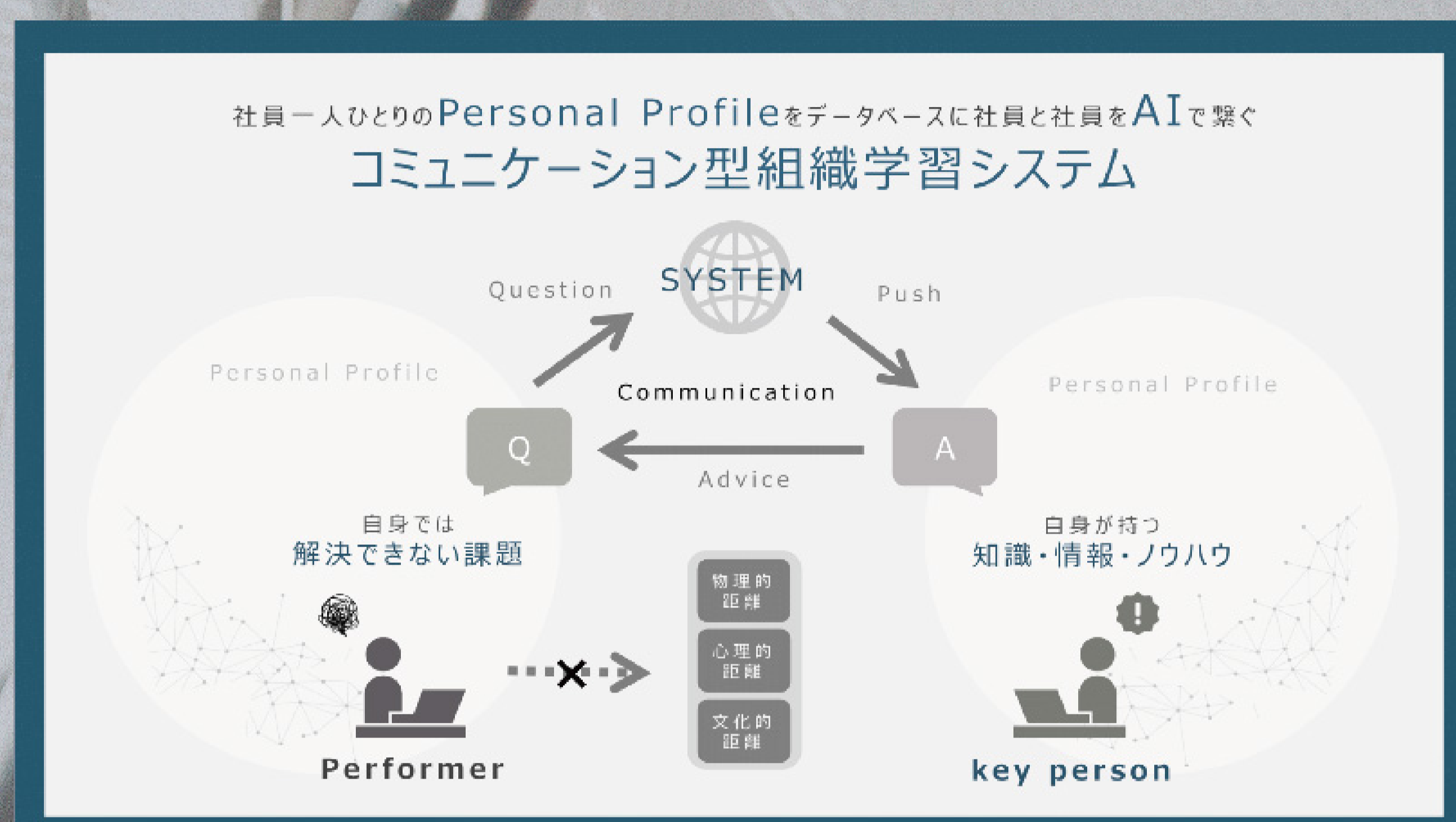
解決となる取組み

概要

本システムは、社員一人ひとりのPersonal Profileをデータベースに、最先端AIにより「社員の課題」と「社員の能力」を組織のサイロの壁を超えてつなげる【コミュニケーション型組織学習システム】です。日常的・多発的な新規コミュニケーションの創造により、組織パフォーマンスを最大化させます。

取組みを支える技術

本システムは、蓄積された組織のコミュニケーションデータをもとにAIが「社員理解」と「組織理解」を深めます。社員が使えば使うほどシステムが自己学習を進め、自社に最適化されるとともに、あらゆる角度からの組織分析・可視化が可能となっていきます。



共創
パートナー

アスタリスク株式会社 / エクスマキナ株式会社

SDGs



「才能と才能が出会えば、組織は、世界は、強くなる」

これが私たちの考える

“人的資本経営”の在り方です。

M社さまとの取り組み事例

実施期間
2021年4月～2022年3月

課題

- 個々の事業は安定的に推移している一方で、突出した事業を創出できていません。
- 人脈・知見・情報・組織がサイロ化しているため、社会課題を適切に見出し、解を提示、実行する機会を逸失しています。

アプローチ

「組織の壁を超えて必要な知と知がデジタルに繋がる仕組み創り」をめざし、現状分析と価値確認を行うための【①課題分析】【②アナログ検証】と、実際に検証用システムを活用した【③デジタル検証】を実施しました。

成果(お客様の声)

検証の中では、認知・称賛の素地を整え、心理的安全性を担保し、課題感や疑問を持つ社員同士が知見を共有・交換する場を作ることで、組織の垣根を超えた知見の掛け合わせ事例を生み出し、効果を可視化することができました。

お客さまからの声

- デジタルツールを実際に使用して検証を実行できたのは大きな一歩。
- 自己投入推奨では不十分なため、自動収集や組織の一定の強制力が必要。
- 新規導入する際には、既存システムとの活用方法の違いを社員に具体的に伝えることが重要。

